

あなたとつなぐ

甲賀

市議会だより

KOKA city assembly report 令和2年(2020)11.01 vol.64

Contents

- 02 【特集】令和元年度決算
- 07 9月定例会議案審議
- 11 特別委員会報告
- 12 常任委員会報告
- 15 組合議会報告
- 16 一般質問／市の考えを問う
- 24 あなたとつなぐ！市議会議員紹介vol.10



PHOTO [甲賀流リアル忍者館オープン!]

【特集】令和元年度決算

令和元年度 一般会計決算を集中審査

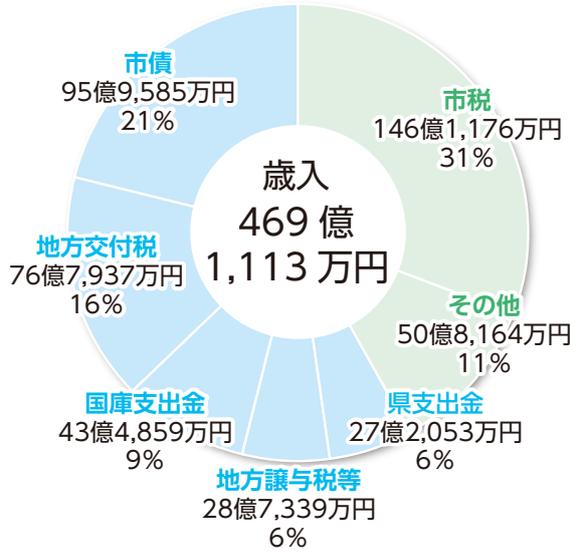
予算決算常任委員会では、9月11日・14日・15日・16日の4日間及び24日にわたり、令和元年度甲賀市一般会計歳入歳出決算の認定、及び令和2年度一般会計補正予算(第4号・5号)について集中審査を行いました。決算審査では、令和元年度が3年目となる第2次甲賀市総合計画を進め取り組んだ市の各施策を「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」の面を中心に、各担当部局の説明を求め、全歳入歳出決算について審査しました。

採決の結果、一般会計決算及び各補正予算案はそれぞれ認定、可決すべきものと決しました。

歳入決算構成

・自主財源…市が自主的に収入する財源。42%
 (この財源が多い方が市独自の政策展開の自由度が高まる。)

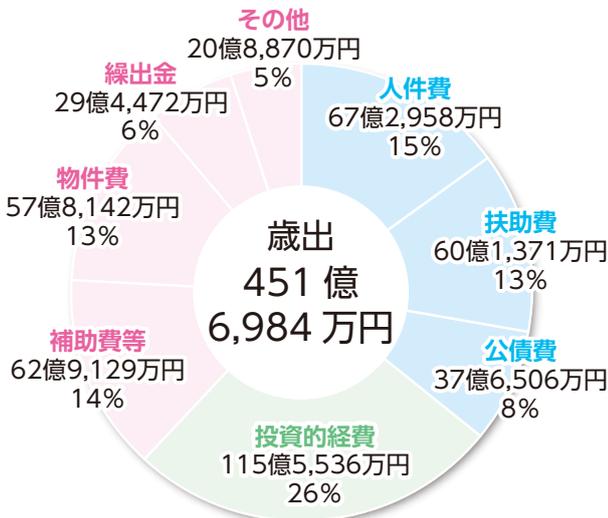
・依存財源…国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入。58%



歳出決算構成

・義務的経費…任意に削減できない極めて硬直性が強い経費。36%

・投資的経費…道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備等に要する経費。26%



その他は、維持管理費、積立金、投資及び出資金、貸付金、予備費

県内各市の健全化判断比率・経常収支比率一覧(速報値)

(令和元年度決算ベース)

(単位：%)

市名	実質赤字比率 ※1	連結実質赤字比率 ※1	実質公債費比率 (3箇年平均) (順位)	将来負担比率 (順位) ※2	経常収支比率 (順位)
大津市	-	-	2.1 (1)	- (1)	88.9 (2)
彦根市	-	-	7.3 (7)	42.9 (10)	94.2 (10)
長浜市	-	-	2.3 (2)	- (1)	90.4 (5)
近江八幡市	-	-	2.3 (2)	- (1)	90.5 (6)
草津市	-	-	6.5 (6)	- (1)	94.6 (11)
守山市	-	-	3.9 (4)	- (1)	92.4 (8)
栗東市	-	-	15.0 (13)	131.4 (13)	95.1 (13)
甲賀市	-	-	8.0 (8)	65.6 (12)	90.1 (4)
野洲市	-	-	9.0 (9)	53.9 (11)	93.3 (9)
湖南市	-	-	9.1 (10)	31.7 (9)	89.3 (3)
高島市	-	-	9.3 (12)	22.6 (8)	94.9 (12)
東近江市	-	-	9.1 (10)	- (1)	88.6 (1)
米原市	-	-	6.2 (5)	- (1)	92.3 (7)
市平均			6.9	26.8	91.9

※1 実質赤字額がないため、「-」と表記しています。

※2 地方債現在高などの将来負担額より基金などの充当可能財源が多いため、「-」と表記しています。65.6%は早期健全化基準内(適正な値内)です。



経常収支比率ってなに？

地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率で経常的経費に一般財源収入がどの程度使われているかを示す指標。

合併以降、ほぼ毎年95%を超える高い水準で移行していたが、財政健全化の取り組みで平成22年度以降は80%台～90%前後で推移してきた。

【特集】 令和元年度決算

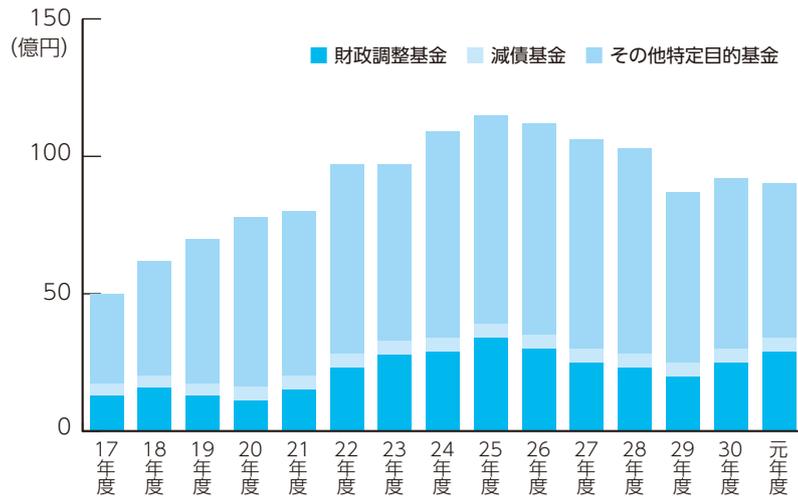
基金現在高の推移

基金は各年度の財源を調整するための「財政調整基金」や市債の償還財源を確保するための「減債基金」のほか、特定目的を達成するために必要な財源をあらかじめ準備しておくための16の特定目的基金を設置している。

合併直後の平成17年度には約49億円まで減少したが、令和元年度末には約90億円となっている。

(単位：百万円)

区分	年度	17年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
基金現在高		4,976	10,658	10,330	8,785	9,182	8,950
財政調整基金		1,315	2,541	2,271	2,028	2,458	2,860
減債基金		374	537	537	537	537	537
その他特定目的基金		3,287	7,580	7,522	6,220	6,187	5,553



近年基金は減少

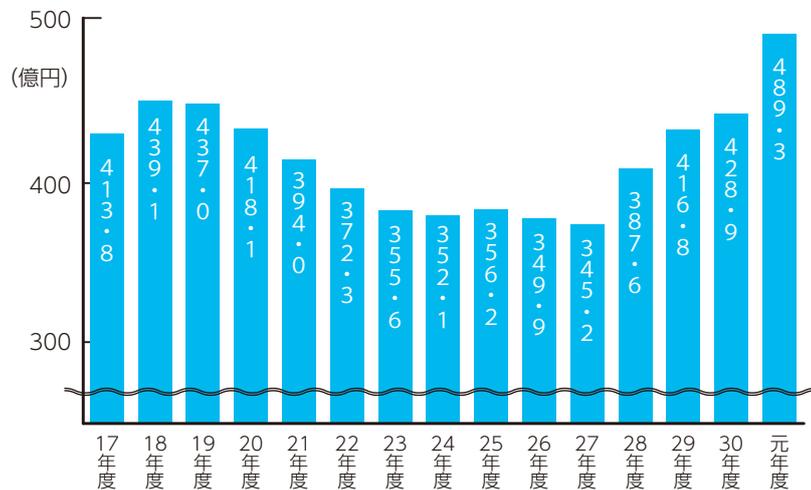
地方債現在高の推移

市債(地方債)は、主に道路や学校などの公共施設を整備するときの財源として、国や民間金融機関等から借り入れている。

市債現在高は、合併前後の大型事業の財源として借り入れたため、合併直後から増加したが、平成19年度以降は、市債の新規借入を抑制するとともに、将来世代の負担を軽減するため、繰上償還を行い適切な市債管理に努めている。

(単位：百万円)

区分	年度	17年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
地方債現在高		41,379	34,518	38,762	41,679	42,893	48,931



市債残高は過去最大

今後、自主財源の確保とともに、国、県の補助制度等を十分に活用した歳入確保と、職員一人ひとりの強いコスト意識と創意工夫による事務事業の見直しなど、引き続き財政健全化に取り組みとともに、市民の安全・安心、住みよい暮らしを守るため、効率的・効果的な予算執行に努め、限りある財源を最大限有効に活用しつつ、積極的に事業展開をされるよう望む。

歳入歳出総額は歳入で約469億1千万円、歳出で約451億6千万円で翌年度繰越財源を差引いた実質収支額は約14億8千5百万円と黒字となった。市諸施策展開を支える自主財源の根幹をなす税、料金等の収入確保は、景気の動向に左右されるが本市の安定的な財源確保のための最優先課題であり、今後も収納向上対策強化計画に基づき更なる収納率アップに努めて頂きたい。

令和元年度甲賀市一般会計は、決算規模では中長期財政計画に則り、将来に過度な負担を残さない責任ある投資と効率化を基本に、有利な財源を最大限に活用するため進められた合併特例債事業である各施設整備がピークを迎えたところから歳入歳出とも過去最大になった。

決算監査意見書

監査委員 山本哲雄・山岡光広

【特集】令和元年度決算

令和元年度一般会計決算審査

予算決算常任委員会

9月11日から4日間、約20時間にわたり部局別に審査しました。今回の決算委員会では、平成31年度予算審査時において議論したことが、どのように反映されているかを確認(追跡)することをポイントに、18事業を選定し、資料として執行部から事務事業評価シート(A～Dの4段階評価)の提出を求め審査しました。その中で主だった質疑を紹介します。

「まる一む」の使い方

事務事業評価シート(評価C)

Q 利益がある使い方とない使い方で使用料に差があるが、チェック体制はどうか。



いろいろな活動に利用されている「まる一む」

総合政策部

A まる一むの特徴としてルールをあまり設けず使い勝手を良くするというコンセプトで貸館している。開館から1年が過ぎ、利用者が増える中で、商売の場合は3倍の料金となるが、商売の線引きがだんだん難しくなったと感じている。職員だけでは判断できないので運営協議会を立ち上げ第三者の意見を聞きながら、市民にとって使い勝手の良さを追求していきたい。

窓口業務

事務事業評価シート(評価C)

Q アウトソーシングそのものについて一定の段階で検証が必要ではないか。



アウトソーシングした窓口業務

市民環境部

A アンケートを実施して検証を行う。事業評価シートでC評価とした点は、事業自体の評価ではなく、待ち時間短縮が達成できていない部分の評価である。

不妊治療の助成

Q 一般不妊治療と男性不妊も含む特定不妊治療助成の利用実態はどうか。

健康福祉部

A 令和元年度の実績は男性はゼロ、女性は80名で年々増えている。一般不妊治療は昨年度新たに創設し、助成は7件。今後も市として周知、啓発を行っていきたい。

保育園ICT導入

事務事業評価シート(評価B)

Q 具体的にどのような成果があったのか。超過勤務、労働時間がどれだけ減ったのか。

こども政策部

A 園児台帳の管理や登降園の管理ができるようになり、在園者の把握ができるようになった。今後は保護者に向け発信ができるようになる。時間外勤務や事務処理の時間が減ることを見込んでいます。

6次産業化事業

Q 認定事業者で実際に動いているところは少ないのではないか。

産業経済部

A 実際に動き、商品が高く評価されているのは一握りである。生産者からは6次産業よりも1次産業に力を入れてほしいとの声が多い。特にお茶はコロナで大きな被害を受け、6次産業どころでなく1次産業の支援を望まれている。昨年度も多く補助事業を1次産業に充てた。

【特集】令和元年度決算

コミバス、コミタク 事務事業評価シート(評価B)

Q コミバス、コミタクは数値に表れない評価が大事ではないか。

建設部

A 利用人数や利用の少ない運行便数の割合については目標に届いていないが、今までの課題が改善できた。コミバスの無料乗車券の地域別の差について、今後地域の声も聞かせていただき、出前講座でPRしていきたい。

夢の学習事業

Q NPOに委託しているが行政が主体的に進めるべきではないか。

教育委員会事務局

A 地域の社会教育の向上も事業目的のひとつであり、家庭教育事業で学びを提供する事で人とのつながり、地域力を向上させていく流れを、委託先と協議しながら進めていく。

反対討論

市債残高が年々増加、合併特例債といえども借金に変わりはない。歳入では、ふるさと納税に力を注ぐより、市民の収入を増やす施策で税収を上げるべき。歳出では、アウトソーシングの導入には十分な検証が必要。陶芸の森前の土地取得について鑑定評価の疑問点が再検討されないままであり、今後の具体的な用途も示されていない。また、あいコムこうかへの支出で、自立する方向での支援と役割が必要。こどもの医療費を中学校卒業まで無料化など、市民の願いに応えた決算とはなっていないことから反対。

賛成討論

歳入では、収納対策強化に努め、収入未済額が減少し収入率が上昇、ふるさと納税の寄附金が大幅に増え、積極的なシテイセールスが実を結び評価。歳出は大型公共施設を整備したため過去最大の額となり、市債が膨らんだが、有利な合併特例債を利用したことで将来負担比率は適正な値を保っている。新型コロナウイルスの地域経済のダメージは大きい「スカレット」の放送に合わせたシテイセールスの推進や、甲賀流忍者の観光拠点施設の整備など、次につなげる事業に取り組んだ決算であることから賛成。

補正予算

新型コロナウイルス感染症関係等経費 補正予算第4号・第5号を審査

出産された家庭の経済的な支援を実施するため、4月28日以降に出生した新生児を対象とした給付金のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者等を支援する事業費等を国の感染症対応地方創生臨時交付金等で歳入歳出それぞれ12億9822万2千円追加補正するもの。(第4号)

また、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を防止し、医療現場の混乱を抑えるため、インフルエンザ予防接種費用を助成する所要経費を、県支出金、財政調整基金繰入金で歳入歳出それぞれ8259万円を追加補正するもの。(第5号)

令和2年度一般会計補正予算(第4・5号)

新型コロナウイルス感染症対策(主なもの)(第4号)

新生児応援特別定額給付金事業	66,221 千円
国際化推進事業(外国人相談窓口)	6,417 千円
障がい者施設等共同受注事業	3,729 千円
市立保育園管理・私立保育園運営	16,500 千円
新型感染症予防事業(対策物品購入)	16,000 千円
茶生産、水田園芸作物、畜産対策事業	79,000 千円
コミュニティバス運行事業	26,773 千円
小中学校最終学年記念事業	5,000 千円
学校給食事業	23,433 千円

その他事業(第4号)

コミュニティ推進基金積立て	195,000 千円
財政調整基金積立て	743,000 千円
地域型保育施設整備事業	15,000 千円
防災対策環境保全事業	7,000 千円
過年農業用施設災害復旧事業	69,400 千円

(補正第5号)

予防接種事業	82,590 千円
--------	-----------

【特集】令和元年度決算

令和
元年度

特別会計・企業会計歳入歳出決算

特別会計は国民健康保険特別会計など4会計、企業会計は病院事業会計など5会計、特別会計、企業会計合わせると9会計があります。一般会計は予算決算特別委員会に付託され審査を行いました。特別会計、企業会計についてはそれぞれ所管の常任委員会に付託され審査しました。

■ 特別会計

(単位：円・%)

区分		会計名	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	野洲川基幹水利 施設管理事業
歳入	決算額 A		8,626,363,918	1,957,840,146	7,963,278,168	34,693,778
	収入率		99.2	98.6	99.0	99.9
歳出	決算額 B		8,613,584,036	1,936,511,870	7,588,583,863	34,685,017
	執行率		99.1	97.6	94.4	99.9
		繰越事業費繰越財源 C	0	0	0	0
		差引残額 A-B-C	12,779,882	21,328,276	374,694,305	8,761
		審査結果	認定	認定	認定	認定

■ 企業会計

(単位：円・%)

区分		会計名	病院事業	水道事業	診療所事業	介護老人保健 施設事業	下水道事業
収益的 収支	決算額 A		693,742,259	3,050,614,826	208,568,309	298,151,380	3,754,372,429
	収入率		85.5	99.0	92.7	97.1	98.9
	決算額 B		774,579,571	2,555,758,514	207,181,165	285,347,952	3,611,961,866
	執行率		95.4	94.7	92.1	92.9	96.3
		収益的収支差額 A-B	▲80,837,312	494,856,312	1,387,144	12,803,428	142,410,563
資本的 収支	決算額 a		35,800,000	602,580,250	0	0	1,669,750,409
	収入率		76.5	96.9	-	-	87.7
	決算額 b		64,160,932	1,581,024,580	5,554,043	12,797,833	2,996,829,307
	執行率		97.3	85.4	99.2	99.9	91.8
		資本的収支差額 a-b	▲28,360,932	▲978,444,330	▲5,554,043	▲12,797,833	▲1,327,078,898
		審査結果	認定	認定	認定	認定	認定

◆ 国民健康保険特別会計決算

反対討論

広域化になっても高い保険税を払いきれない状況は解決されない。国保の構造危機の根本にメスを入れるべきで、国庫負担を段階的に元に戻し、一兆円規模の積極的な国費を投入し、協会けんぽ並の国保税にするべきで反対。

賛成討論

広域化され財政の構造的問題が解決した。収納率が向上し、基金繰入金1億4千万円を投入し保険税を据置している。特定健康診査の受診が向上し、予防医療に力を入れていくことから賛成。

◆ 後期高齢者医療特別会計決算

反対討論

後期高齢者を別枠の医療保険に強制的に加入させ、負担増と差別医療を押し付けている。制度そのものに問題があり反対。

賛成討論

高齢者にとってなくてはならない制度で、軽減率は低所得者にも配慮されている。広域連合により安定的に運営されていることから賛成。

◆ 介護保険特別会計

反対討論

介護保険料が高すぎる。利用料の減免制度を定める。老人ホームの待機者解消ができていない。介護保険の拡充を求め反対。

賛成討論

厳しい決算状況だが、医師会や医療機関と連携し地域包括ケアシステムを計画的に進めていることから賛成。

9 月定例会議案審議

PICK UP 1

議案第94号

新規立地・設備投資企業へ
固定資産税優遇

新型コロナウイルス感染拡大に伴う輸出入の停滞により部品供給などの供給連鎖、いわゆるサプライチェーンが打撃を受けました。このサプライチェーンの強靱化を目的に政府は国内回帰企業支援の補正予算2200億円を計上し、1670件、約1兆7640億円の申請がありました。今後、国内回帰企業の急増は必至であり、甲賀市への誘致のため固定資産税を優遇する条例改正案です。これにより、市内雇用拡大ひいては地域経済の回復が期待されます。賛成多数で可決しました。

主な質疑

Q 誘致企業の品目による優遇措置はないか。例えば、医療品など重要品目の製造拠点を国内回帰させる企業を特に優遇する措置を設けられないか。

A 現在は検討していないが、地場産業には検討の可能性がある。

Q 企業は回帰先選定に減税を重視

するか。

A 日本立地センターの調査では企業立地で約15%の企業が優遇制度を重視している。

反対討論

中小企業の優遇こそ必要。本条例改正案は大企業を優遇するものであるため反対。

賛成討論

大企業だけが対象ではない。税のみならず誘致の意欲を示す意味でも大切であり賛成。



PICK UP 2

議案第96号・97号

消防団支援団員制度の導入

団員数減少と団員の勤務形態の変化により、有事の際に即応できる団員の確保が難しくなっています。それを補う目的で70歳未満、団員経験5年以上のOBを対象にした支援団員の枠を新設し、その他退職金等に関わる規定を加える条例改正です。討論はなく全員賛成で可決しました。

主な質疑

Q 支援団員は「分団管轄内に居住し、同管轄内で起こる災害に直ちに出勤できる者」と位置づけられているが、その考え方は。

A 基本団員は定員はあっても、即応できる団員が少ない。それを補うのが支援団員であって検討委員会ですべて説明していく。

Q 支援団員は一般団員よりも即応性を求められていると解釈できるが、一般団員に支払われている団員報酬が支援団員に無いのはなぜか。

A 消防団検討委員会で議論を重ねてきた結論であり、市としてはこれを尊重したい。

Q 支援団員が必要な方面隊は主にどこか。

A 信楽、甲賀、土山の3方面隊で基本団員の確保が難しい。

Q 支援団員対象者は何人いるか。

A 平成25年度から令和元年度で退職した団員は576人いる。



9 月定例会議案審議

PICK UP 3

議発第3号・4号

大規模災害時など
非常時での議会機能維持

大規模災害時などの非常時には、市民の生命と財産を守るための大切な補正予算等の審議・採決が必要になり、議会の機能が停止してはなりません。そうしたことを想定し、議会改革推進特別委員会で、業務継続計画（議会BCP）の策定を行い、非常時の議会機能維持のための取り決めを行いました。議会基本条例（第3号）及び議会会議規則（第4号）の改正は、この議会BCPの策定に伴うものです。特に第4号において、甲賀市議会災害対策会議について、その構成委員や設置目的等を明記しています。

当初、この議会BCPは大地震や風水害を想定して策定されましたが、発足とほぼ同時に新型コロナウイルス感染症拡大が起こり、政府が緊急事態宣言を発令されたことを受け、甲賀市議会でも議会BCPを発動し、迅速な安否確認などの訓練も実施しました。本議案



に対しては質疑、討論はなく、全員賛成により可決しました。

PICK UP 4

意見書案第21号

公安調査庁によるオウム真理教
観察処分の期間更新要望

甲賀市内にはオウム真理教のアレフの施設が二か所存在し、地元住民は日々強い不安や恐怖を感じています。アレフの一日も早い解散撤退を求めて対策委員会を設立し一致団結して抗議運動に取り組んでいるものの、地域住民や自治体の力には限界があり、これまでもオウム真理教対策関係市区町連絡会等を通じ、オウム真理教問題解決に向け抜本的な対策を国に要望してきました。

このような状況の中、令和3年1月には、オウム真理教（アレフ、ひかりの輪、山田らの集団）に対する「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づく公安調査庁の観察処分期間が満了を迎えます。

意見書は、今後も観察処分を継続し住民不安を取り除くために、この期間延長を法務大臣、公安調査庁長官、公安審査委員会委員長宛に要望するものです。質疑、討



甲賀市内におけるオウム真理教への抗議集会

論はなく、全員賛成により可決しました。

9 月定例会議案審議

PICK UP 5
意見書案第22号

市財政の急激な悪化に伴う 地方税財源確保の要望

新型コロナウイルス感染拡大に伴う各業界の営業自粛やサプライチェーン寸断による製造業の停滞により、我が国の経済は大打撃を受け、戦後最大の危機を迎えています。甲賀市においても税収の大きな落ち込みは避けられない状況に追い込まれ、令和3年度の財源確保が緊急課題です。これに対し、本意見書では衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣宛に、必要な地方税・地方交付税の確保や、地方財政の重要な基幹税である固定資産税について見直しを断じて行わないことを求めています。特に今後の経済対策については固定資産税の特例措置ではなく、国庫補助金により行われることを求めています。また、政府の緊急経済対策では、やむを得ない事情で固定資産税に対する特例措

置がなされましたが、これを今回限りとし、期限の到来をもって終了とすることも求めています。本意見書に質疑、討論はなく全員賛成により可決しました。



令和3年度の税収は激減の見込みで財源確保が緊急課題

PICK UP 6
請願第3号

小中学校給食費の 負担軽減・無償化の要望

本請願は、6月に開始された議員間討議を初めて厚生文教常任委員会にて適用し審査しました。本請願は7人に1人が貧困と言われる今日、「義務教育は無償」との憲法第26条を根拠に、学校給食の負担軽減や無償化を求めるものでした。討議の中では、既に第3子以降の学校教育費の支援制度があること、完全無償化した場合、約3億円の財源が必要との意見が出ました。また請願では一律無償化を求めているのかという点についても議論されました。賛成少数により不採択と決しました。

反対討論

請願の趣旨は尊重するが、その方法論や財源を論じないで市民目線や思いのみで採択というわけにはいかない。無償化の3億4千万円は現在の当市には負担が大きいが、給食法上負担いただくところは負担をいただくことが原則。支援策もあり、手当てされていると

考え、反対。

賛成討論

現在の保護者の状況を考えると無償化は必要。2888件の署名を大事に受け止めるべき。本請願書は、一気に無償化とも言われておらず、軽減も含めてということ。「半分補助でみんな楽しく給食を」とも考えられる。材料費の負担は市の裁量で一部補助することも可能なので、その意味からも採択すべきであり賛成。



甲賀市学校給食の一例

特別委員会報告

議会改革推進特別委員会

市民に関かれた議会を目指して

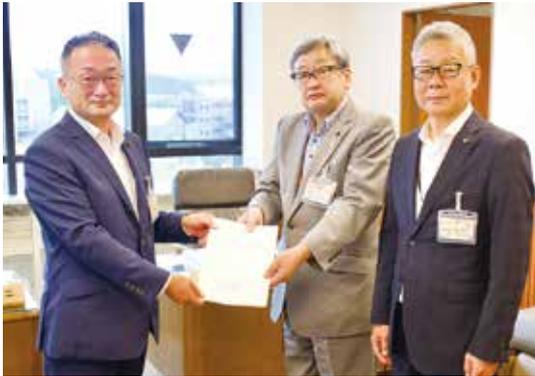
本定例会において委員長報告、そして議会基本条例と会議規則の改正議案を上程、全会一致で可決しました。3年間にわたる特別委員会での調査研究は今議会で終了しました。

設置目的

特別委員会の設置は平成30年3月定例会において、

- ・ 政策提言や立案機能の強化
- ・ 議会審議の活性化
- ・ 市民への積極的な情報提供

など、より開かれた議会の推進に向けた種々の問題について調査研究を行うことを目的とし設置されました。



委員長と副委員長が、議長に報告書を提出

議員政治倫理条例の制定

公職である議員は当然のことながら規範となる存在であり、条例制定の必要性はないとされる意見や議会基本条例だけでは不十分であり、補完する意味が必要であるなどの意見が出され、慎重に審議した結果、条例を制定することで意思統一し平成30年12月に制定しました。

タブレットの導入

紙資源の削減や議会運営の効率化のため、タブレット端末機を導入しました。それに伴う利用規程を制定し、今後さらに機能の充実に図っていきます。

「議員問討議」の導入

議案等を審査する際に、議員相互に十分な議論を尽くし、合意形成に努めることを目的としています。9月議会、厚生文教常任委員会で実施されました。

議会業務継続計画の策定

災害時に迅速な議会の機能回復

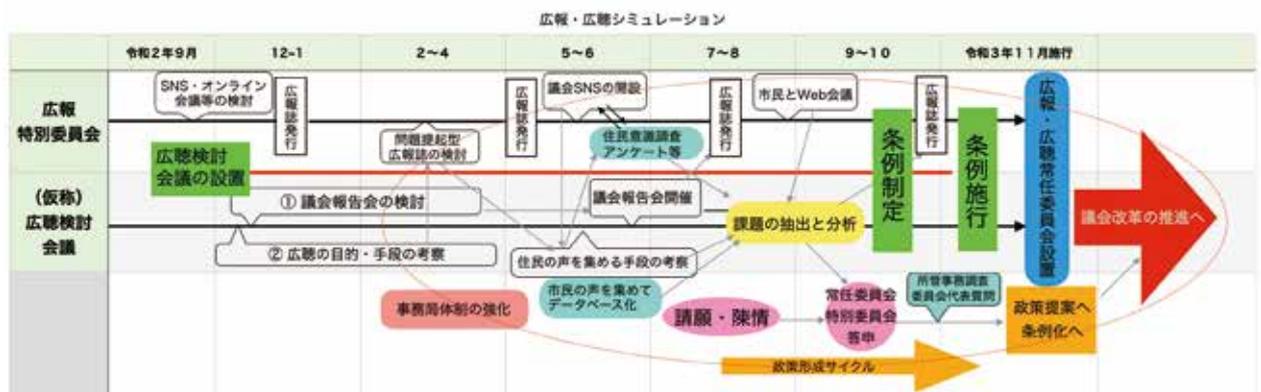
を図り、市民が必要とする支援は何か、復旧に際しての取り組みを計画として定め、今回の新型コロナウイルス感染症対策にも、いち早く災害対策本部を設置し、素早い対応ができました。

委員会代表質問の導入

各会派の代表質問は、予算及び市長選挙の直後の議会で行うことが申し合わせです。委員会では「議員問討議」をすることにより、合意形成が見出されれば、執行部に委員会を代表して質問をすることで、議員が政策提案していく事結びついていくのではないかと考えて実行することとしました。

(仮称)広聴検討会議の設置

本市議会は、定例会ごとに年4回広報紙を発行しています。こうした広報だけでなく、広く市民の声を聞く広聴とは何をするのか議論を進めてきました。その手法として現在議会報告会を行なっていますが、その手法論を議論しても前には進まないのが現状です。広聴は「行政に対する市民の意見・要望を収集し、市民の声を政策に反映すること」を目的として、広報・広聴を進めていくべきであると考え、(仮称)広聴検討会議の設置を提案しました。



広報・広聴のロードマップ

総務常任委員会 日誌



■ 8月18日

指定緊急避難場所・指定避難場所の変更、第二次甲賀市総合計画・第二期基本計画の策定、株式会社あいコムこうかの経営状況

■ 9月10日

甲賀市消防団条例の一部改正、甲賀市非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正

委員長 森田久生 副委員長 田中喜克 辻 重治・山岡光広・林田久充・田中将之・里見 淳
総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。

7月20日、8月18日に委員会を開催し所管事務調査を行いました。
8月18日の委員会では、指定緊急避難場所・指定避難場所の変更、公共施設予約システムの運用開始等について、所管事務調査を行いましたので、その内容についてお伝えします。

公共施設予約システム10月より運用

国指定緊急避難場所・指定避難場所の変更

市の指定緊急避難場所並びに指定避難所及び両方を兼ねた施設のうち、市所有施設で用途変更された施設を災害対策基本法による指定を新たな施設に変更を行うものです。

- 旧 旧水口体育館(水口町本丸)
- 新 水口高等学校(体育館格技場)
- 旧 水口体育館(水口町鹿深)
- 旧 旧山内小学校(土山町黒川)
- 旧 旧山内保育園(土山町黒川)
- 旧 旧山内保育園(土山町黒川)
- 旧 旧山内保育園(土山町黒川)
- 新 旧山内保育園(土山町黒川)
- 新 ダイヤモンド滋賀(体育館)
- 旧 旧信楽伝統産業会館
- 新 信楽伝統産業会館(信楽町長野)

※ 旧伝統産業会館は解体までの間、区・自治会の自主避難所として活用します。水口体育館は空調等設備が整っているため、収容施設不足時の福祉避難所、復旧期の仮設住宅完成時までの避難所として運用を予定しています。

公共施設予約システムの運用開始・10月1日

パソコン、スマートフォン、タブレットから公共施設の予約や空き状況の確認が可能となるシステムが稼働し、施設利用にかかる利便性が向上します。
対象施設

- ・ 活動センター「まるーむ」
- ・ 水口中央公民館
- ・ 土山中央公民館

市行政区の一部を変更

行政区の「希望ヶ丘区」と「希望ヶ丘本町区」が6月30日廃止され、新たに「希望ヶ丘学区」2714世帯が発足、また貴生川地区に「南内貴区」が7月1日発足しました。

予約運用

「まるーむ」 9時～24時
各体育館10時～17時15分迄
各公民館は空き状況確認のみ

- ・ 甲賀公民館(かふか生涯学習館)
- ・ 甲南公民館
- ・ 信楽中央公民館
- ・ 水口体育館
- ・ 岩上公民館
- ・ 甲南体育館
- ・ 信楽体育館
- ・ 甲南B&G体育館



甲南第一地域市民センター改修中 児童発達支援センターなど装い新たに

8月18日、甲南第一地域市民センターの大規模改修工事の進捗状況を調査しました。耐震補強とエレベーター棟増設、外壁なども改修。工期は12月末まで、7月末時点の進捗は83・9%でした。

【1階】甲南第一地域市民センター、保健センター、地域包括支援センター(すでに供用)、子育て支援センター・プレイルーム(来年1月移転・2月運営開始)、会議室・相談室等

【2階】児童発達支援センター(旧こじか教室)・こじかの教室(来年3月移転開始・4月運営開始)

【3階】各種団体室・会議室・大会議室市民交流スペースとして活用



厚生文教常任委員会 日誌

■7月15日

水口地域及び甲南地域における統合認定こども園整備の進捗状況、「働き教育センター甲賀」の取り組み

■8月17日

第7期介護保険事業計画・第2次障がい者基本計画等の進捗、オウム真理教後継団体の現状、こじか教室等の現状

委員長 戎協 浩 副委員長 橋本恒典 山中善治・竹若茂國・山中修平・堀 郁子・岡田重美
市民の生活と福祉、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。



働き教育センター甲賀

7月15日、8月17日に委員会を開催し、所管事務調査を行いました。調査の内容について主なものをお伝えします。

就労移行支援事業所「働き教育センター甲賀」

甲南町寺庄の旧市民福祉活動センターに開設された「働き教育センター甲賀」の現地視察を行いました。「就労移行支援」とは、一般企業への就職をめざす障がいのある方を対象に、就職に必要な知識やスキル向上のためのサポートを実施することです。これまで、市内には就労移行支援事業所が少なく利用者の多くは市外事業所を利用されていましたが、市内にできたことで利用がしやすくなります。

認定こども園整備進捗状況

水口地域の水口東・岩上統合認定こども園、伴谷統合認定こども園については、令和2年5月7日に公私連携協定が締結されました。令和2年度内に、開発協議、保護者等説明、造成工事が実施され、令和3年建築工事、令和4年4月に開園の予定です。委員会の質疑では協定書の内容の確認などがありました。

甲南地域認定こども園は、今後認定こども園実施計画検討協議会で事業用地候補地を選出の予定です。

第7期介護保険事業計画の進捗

Q 在宅サービスで土山地域に訪問看護がない。8期の考えはどうか。

A 訪問診療の開業医に聞き取り、整理し、訪問看護を含めて、8期で方向性を示す。

Q 甲賀市に合わせた地域包括ケアシステムを考えては。

A 大きな計画と地域計画を考える。

Q 介護者への支援の充実は。

A 介護者が離職しなくてもよい支援を考えている。老老介護については例えば腰に負担がかからない介護の研修会を考えている。

第2次障がい者基本計画の進捗

Q 障がい者差別のない共生社会づくり条例を策定しないのはなぜか。災害時の緊急度がわかる手立ては。緊急時の支援に力を入れて欲しい。

A 今年度は本計画と手話言語と情報コミュニケーション条例を優先するが状況をみて検討する。災害時は色々な発信状況を検討する。

Q 就労支援でJOBコーチが必要。A 計画と合わせ検討する。

Q 重度心身障がい者通所施設「かがやき」ができ地域で暮らせるようになったか。A 課題として考えている。

オウム真理教後継団体の現状

市内に2施設あり勧誘活動は見られないが、修行を復活させる全国的な状況があり、市は地元対策委員会へ補助金交付やパトロール実施等しています。委員長から観察処分の期間更新を求める意見書の提案に全員が賛同し9月議会で提出しました。

こじか教室等の現状

こじか教室や適応指導教室は個々に応じた指導方法・指導員の資質能力向上が課題。幼児こじかの教室は早い年齢からの指導の必要性について説明がありました。

産業建設常任委員会 日誌



- 8月7日
旧信楽伝統産業会館を視察、新型コロナウイルス感染症拡大防止臨時経済対策事業、災害時等における県斎場施設連絡協議会構成火葬場の相互応援に関する協定の締結
- 9月9日
令和元年度水道・下水・野洲川基幹水利施設管理事業の決算認定、市営住宅条例の一部改正等。

委員長 橋本律子 副委員長 小西喜代次 土山定信・田中新人・鶴飼 勲・白坂萬里子・小河文人・糸目仁樹
産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。



旧信楽伝統産業会館でのスカーレット展

7月14日、8月7日、9月9日に委員会を開催し、所管事務調査を行いました。7月14日には旧信楽伝統産業会館を現地視察し、8月7日にも調査しました。同会館は信楽地域市民センターと共に新築され移転しましたが、現在はスカーレット展が開催されています。

旧信楽伝統産業会館 現地調査

Q 解体の方向と聞いていたが、スケジュールと解体費用はどれぐらいかかる見通しか。
A 来年度に設計して解体を行う予定である。また解体費は概算で六千万から九千万円程度である。



スカーレットの主人公貴美子の衣装も展示

新型コロナウイルス感染症拡大防止臨時 経済対策事業の実施状況

Q クーポン券配布事業について、444件の協力があつたが、執行部として予定通りか。
A クーポンの店舗について、現段階では444店舗である。昨年実施したプレミアム商品券で登録店舗は大手スーパーも含み350店舗であった。

「災害時における滋賀県斎場施設連絡協議会構成火葬場の相互応援協力に関する協定」の締結に向けた進捗状況報告

Q 要請を受けてとあるが、誰が要請するのか、誰がかじ取りをするのか。

A 災害による場合は、県の防災計画に基づき県が取りまとめる。県に要請し、県が協力先の調整をする。要請を行うのは、各市・行政組合等である。

市営住宅条例の一部改正

市営住宅への円滑な入居促進のための入居手続き・資格等の整理を行う。また、竜が丘団地駐車場において使用料を徴収できるよう改正。質疑・討論はなく、採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決定した。

市道路線の認定

八光線・城が丘団地26号線の2路線で、質疑・討論はなく、採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決定した。

組合議会報告

甲賀広域行政組合議会

令和元年度一般会計決算を認定

全員賛成
認定

令和2年度第4回甲賀広域行政組合議会が10月1日開かれ(写真)、条例改正1件、令和元年度一般会計決算認定1件、令和2年度一般会計補正予算1件が提案され、それぞれ全員賛成で可決、認定しました。

条例改正は、新型コロナウイルス感染症対策として特殊勤務手当の条項を盛り込むもの。令和元年度一般会計は、歳入総額36億237万6千円、歳出総額35億5859万2千円。単年度実質収支額は158万9千円の増となりました。

特徴は、歳入の約8割は、湖南・甲賀両市の負担金。使用料・手数料は935万8千円の減、国からはゴミ処理施設基幹的設備改良事業支援業務に関して循環型社会形成推進交付金93万1千円を、また諸収入では指定ゴミ袋収入が前年対比で約1千万円増となっている。歳出は、対前年度比8148万円の減。全体の51・34%を占める消防費が18億2686万3千円(対前年度比約6千万円の減)、衛生費も11億73万4千円(対前年度



比約4900万円の減)、逆に化学消防車や高規格救急自動車を新たに整備、高性能消防指令施設整備の元金償還が開始されたことから公債費は5億4911万1千円で対前年度比約3千万円の増となっています。

令和2年度一般会計補正は、前年度繰越金の確定などで減額補正(歳入歳出4662万9千円の減)するものです。

議案質疑は赤祖父裕美・山岡光広の両議員が、一般質問は赤祖父裕美・松原栄樹両議員が行いました。

なお、10月3日より、甲賀広域行政組合の管理者は湖南市長に、甲賀市長は副管理者となります。

公立甲賀病院組合議会

令和元年度一般会計決算を認定 会計年度任用職員の給与及び費用弁償

全員賛成
認定・可決

令和2年度第2回公立甲賀病院組合議会が10月2日開かれました。

法人化以前の病院事業会計決算認定はなくなり、病院組合一般会計決算認定、他2議案が上程、慎重審査の上、可決、認定しました。

公立甲賀病院組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

対象職員はいないが、法改正に伴い準備をしておくもの。全員賛成にて可決。

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

法改正に伴い条文の整理を行うもの。全員賛成にて可決。

令和元年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算の認定

病院組合の運営にあたる会計の決算。監査基準に関する質疑があり、より厳格な監査が行われることを確認しました。全員賛成により認定しました。

今期は中期目標、中期計画の議決はなく、病院の経営状態に関しては本会議前に全員協議会を開催し、報告を受け、理解を深めました。

このほか、一般質問は小西喜代次・立入善治両議員が行い、「法人化後に公的医療の後退がないか」や新型コロナウイルス対応に関する質問があり、それぞれ前向きな対応をしている旨の答弁でした。



20人の議員が市の考えを問う

令和2年
9月2日・3日・4日・7日

目次

令和2年 第4回甲賀市議会定例会一般質問（通告順）

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	えびすわき ひろし 戒脇 浩	1 マイナンバーカードの利用促進を 2 青少年育成にむけてバスケットゴールの整備を	11	たなか まさゆき 田中 将之	1 地域交通をどう維持するか
2	もりた ひさお 森田 久生	1 「当市の再犯防止に向けた取り組み」 について 2 「岩永市政、この4年間の取り組みを 問う」	12	やまなか しゅうへい 山中 修平	1 みなくち診療所の現状と今後の方向 性について
3	たなか よしかつ 田中 喜克	1 「迎える3歩、送りの7歩」の思い・ 実践を市役所の職員研修・意識改革 に取り入れては。について 2 「公共施設の統廃合」利便性確保の 上で実施・断行が、最良の行財政改 革では。について 3 信楽高原鐵道に新駅を設置して、日 本遺産・物語づくり「飯道山周辺観 光ルート整備活用計画」の推進を。 について	13	はしもと りつこ 橋本 律子	1 長期計画による道路改善と今後 2 市民力による防災活動の強化
4	ほり いくこ 堀 郁子	1 森林整備による災害防止について 2 甲賀市の人口を増やしていくために 子育て・教育支援について 3 ナッジ理論・仕掛学について	14	やまなか よしはる 山中 善治	1 コロナ対策について
5	つじ げいじ 辻 暲治	1 農業施策について 2 災害への備えと対応について	15	おかだ しげみ 岡田 重美	1 コロナ禍のもと、障害者就労継続支 援事業所への支援について 2 高齢者の尊厳と安心の介護サービ スとするために、第8期介護保険事 業計画について 3 中学卒業までの医療費完全無料化の 実施を 4 旧東海道、カラー舗装の修繕につ いて
6	やまおか みつひろ 山岡 光広	1 岩永市政この4年間の総括と市民要 求について 2 学校図書館整備5カ年計画をふま えた学校図書充実について 3 コロナ特例による介護報酬の引き上 げについて 4 コロナ禍のもとで少人数学級に転換 し子どもたちに豊かな学びの保障を 第二期滋賀県国民健康保険運営方針 について	16	こにしき よつこ 小西喜代次	1 新型コロナウイルス感染拡大の抜本 的対策について 2 新型コロナ感染拡大での継続的な経 済支援について 3 信楽高原鐵道への無料乗車制度の適 用について 4 6月発生の信楽町の土砂くずれへの 対応と課題について 5 豪雨災害への対策について
7	しらかま りこ 白坂萬里子	1 外国人と共存するまちづくりの推進 について 2 小・中学校最終学年への対応につ いて 3 学校でのスマホ持ち込み4条件につ いて 4 おくやみ窓口の設置について	17	はしもと ひさのり 橋本 恒典	1 新名神高速道路を活かしたまちづく りについて 2 市内の道路整備と適正な維持管理に ついて 3 中山間地域等直接支払制度の取り組 みについて 4 安全で安定した甲賀市の水道につ いて
8	いとめ まさき 糸目 仁樹	1 正規職員数増加の検討を 2 常設ボランティアセンター開設を	18	さとみ あつし 里見 淳	1 ギガスクール構想について
9	たなか あらと 田中 新人	1 「甲賀市民の歌」作成制定について 2 国道1号水口道路交通の渋滞緩和に ついて	19	つちやま さだのぶ 土山 定信	1 甲賀市立信楽中央病院の基本方針に ついて 2 みなくち診療所の経営状況につ いて 3 介護老人保健施設ケアセンターさ さゆりの経営状況について
10	はやしだ ひさみつ 林田 久充	1 新型コロナウイルス感染症陽性者の 発生と市の対応について 2 持続可能なまちづくりの視点から、 市長の一期目の成果を問う。 3 「広報こうか」等今後の広報のあり 方について	20	たけわか しげくに 竹若 茂國	1 新型コロナウイルス感染（以下「新型 コロナ」という）における患者探し、 差別、誹謗、中傷、デマ等の市の対 策は！？ 2 ニッポンザル被害に対する対策につ いて 3 在宅における看護、介護、看取りの 現状及び将来について

■答弁者の凡例

総合政策部理事	総政理事	危機・安全管理統括監	危機統括監	総合政策部長	総政部長
健康福祉部長	健福部長	総務部理事	総務理事	市民環境部長	市環部長
上下水道部長	水道部長	子ども政策部長	こ政部長	産業経済部長	産経部長
		教育委員会事務局理事	教育理事		



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



戎脇 浩



Q 青少年にバスケットゴールを
A 既存公園に設置を検討する

子どもたちが送迎に頼らず、気軽にスポーツにいそむむための機会や場所が不足している
と認識しているが、見解はどうか。

教育理事 心身ともに健

やかに育つための環境づくりは大切であり、身近な場で自主的・主体的に遊び学べる場の必要性は認識している。

Q オリンピックの正式種目に3×3のバスケットボールが採用された。ス



利用の多い古城が丘公園のバスケットゴール

トリートから生まれた種目で、オシャレさ、カッコよさで子どもたちのあがれにつながっていると感じる。3×3のコートやゴール下を舗装したゴールなどを整備してはどうか。

教育理事 身近にいつでも楽しめるコートがあればスポーツを始めるきっかけにもなり、リングがあるだけでも効果があると考える。

Q 公園整備の一環としての整備はどうか。
建設部長 正式コートは防球フェンスやカラー舗装が必要となるが、まずは周辺の安全性を考慮して、既存公園のグラウンドにバスケットゴールの設置を検討する。



森田 久生



Q 岩永市長任期4年間の自己採点は
A 100点満点で、80点と採点!

「罪を憎んで人を憎まず」、誤って罪を犯した人が自らの罪を悔い改め、再び社会を構成する一員となるために、「市の再犯防止に向けた取り組み」が必要と考えるが、市の考え方を伺う。

市長 「だれ一人取りこぼさない地域共生社会の実現」という考えの下、罪を犯した人の社会復帰に必要な環境整備を行う。

健康部長 来年度末を目途に見直しを計画している「第2次甲賀市地域福祉計画」に、具体的な施策を盛り込みたい。

Q 岩永市長の任期4年間を通して「誇れる点」と今一歩踏み込めなかった点は。

市長 誇れるところは「顔の見える市長」として「オール甲賀」のまちづくりが、具体的な形となり本市の活力につながってきたこと。踏み込めなかった点は、適正な公共施設の再配置、幼保・小中学校の再編等である。



「甲賀市版再犯防止推進計画」策定を願って保護司会・更生保護女性会から提出された要望書

Q 信楽高原鐵道に新駅を設置して、飯道山周辺観光ルート整備計画の推進を。

市長 信楽高原鐵道は地域公共交通、観光を担う役割機能が期待されており、新駅設置は魅力ある構想と認識している。駅設置には多額の費用が必要となり、観光の魅力

を更に磨き、このルート整備計画とリンクさせながら新駅設置の可能性を検討する。

Q 市職員の意識改革・研修に来訪者を迎える基本「迎えの3歩、送りの7歩」の思い、実践を取り入れてはどうか。

市長 市行政は市内最大のサービス業であり、常に「思いやりの心」を持ち、職員共々、取り組みに努める。更に高い倫理観と人権意識を磨き、市民ニーズにスピード感をもって的確に当たれる職員の研修や意識改革を進める。



田中 喜克



Q 飯道山登山口に高原鐵道の新駅を
A 日本遺産を訪れに魅力ある構想



周辺観光ルート・庚申山テラスからは甲賀市内・近隣市町が一望

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



堀 郁子



Q 市の人口増のため奨学金返還支援
A 課題解決につながる施策研究する

Q 深山を整備し河川の氾濫を防ぐために、もりづくりアカデミーに参加し担い手作りを伺う。

市長 持続的な森林整備で間伐実施面積は県内でも多い。担い手確保は重要であり受講者を増やす。

Q 市内企業に働く若者対象に奨学金返還支援を。
産経部長 市の20〜29歳の人口移動者は転出超過が続く課題。地元企業の意見聞き他市も研究。

Q 虐待したらと恐れる保護者の相談対応と厚労省からの体罰の具体例の周知はどうか伺う。
こ政部長 児童相談所と市の児童相談室の2箇所相談者に寄り添うよう心掛ける。具体例はリーフレット配布やポスター掲示等で図る。

指針で示された体罰の例

- 言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬をたたいた
- 大切なものにいたずらをしたので、長時間正座をさせた
- 友達を殴ってけがをさせたので、同じように子どもを殴った
- 他人の物を盗んだので、お尻をたたいた
- 宿題をしなかったので、夕飯を与えなかった
- 掃除をしないので、雑巾を頭に押し付けた



Q ストレス対処法や自己肯定感を高める教育。心に残る授業を伺う。
教育長 年間数時間。日頃から声かけ励まし友達との関わりで効果がある。サーカスの象の話で限界を決めつげず挑戦してほしいと授業をした。



辻 重治



Q 農業用ため池新法の施行は
A 防災工事の計画的な推進を図る

Q ため池の管理及び保全に関する調査結果と、農業用ため池の決壊などから生命、財産を守るための防災工事は出来るのか。

産経部長 市内には535箇所農業用ため池がある。法律の施行により所有者や、管理者が適切に管理することが義務化された。

また、新たな法律が制定され、防災事業と同様に受益者の負担が過大とならない池の防災工事が実行されるよう働きかける。



農業用ため池の整備が急務

Q 新型コロナウイルスで学校給食用食材のコメの消費の減少量と今後は。
教育部長 臨時休校などで18・2tのキャンセルである。今後は甲賀の一番おいしい最高のコメを食べていただく。

Q 仙川の河川改修の現状と計画は。
建設部長 改修計画区間は、県道新仙川橋付近まで。甲南町寺庄地先の千歳橋上流部まで整備が進められた。その上流は、野洲川の下流整備を先行して実施の予定である。



山岡 光広



Q 図書費算出システム改善、除籍を
A システムは見直し、除籍も行う

Q 国の学校図書館整備五カ年計画に基づき、学校図書の実を。ネットとなって

いる図書費算出システムを見直し、不要となった本の除籍を行い活用できる図書に、百科事典は別枠予算で。ネット環境整備、学校司書の増員を。

教育部長 図書費算出システムを見直し除籍する。百科事典は別枠予算で対応する。

Q コロナ禍のもとで、全小中学校で少人数学級の実現を。実現するうえで課題は何か。
教育長 少人数学級は基本的に望ましい。

教育部長 教室の確保、備品等の経費。市独自で進める場合は、教職員の人材と人件費。

Q コロナ特例で介護報酬が引き上げられているが、本来国が責任を負うもの。利用者負担にすべきではない。
健福部長 通所系で6割、短期入所系で4割が導入。利用者負担を伴わない事業継続支援を国に要望していきたい。





一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



白坂 萬里子



Q 外国人と暮らす共生社会を円滑に
A ライフスタイルに合った支援実施

Q 外国人増加要因と支援の具体的な取り組みは。

総政部長 研修や就労のため、市内で働く人が増加、ライフスタイルに合った支援をするため、多文化共生推進チームを設置しサポート体制を整えた。

Q 言葉の壁を打開するため、市と国際交流協会、多様な団体・地域社会等の役割及び支援策は。



総政部長 協会と連携した国際交流事業や日本語教室、自治振興会と連携した交流サロン、市内事業者と連携して就労状況や生活における課題など共有を図り支援し住み続けていただく。
Q 庁舎内に外国人専用窓口を開設しては。
総政部長 安心できる専用窓口開設を検討する。

Q お悔やみ窓口の設置について。
市長 市民サービスの向上を図る観点からも早期に検討し進めていく。



糸目 仁樹



Q 市職員増員で雇用を増やせないか
A 必要に応じて見直す

Q 甲賀北工業団地など通じ、民間企業に雇用増加を促す一方で、市自身は今まで200人以上職員を減らし、更にこれから減らす計画で矛盾している。市役所も雇用を生み出し、地域経済へ与える影響は大きい。職員数を増やし、雇用を増やす考えはないか。

総務部長 社会情勢や市民ニーズの変化を的確に見極めるなかで、必要に応じて定員適正化計画を見直し、必要とする分野にはしっかりと人材を確保する。

Q いつ災害が起きてても円滑に運営できるように、ボランティアセンターを常設化できないか。ただし、平時は地域課題解決目的の運営を。

健福部長 災害ボランティアセンターは重要であり、大津市の常設ボランティアセンター事例も視察した。災害時迅速な支援活動のため、社協と連携し、常設化について研究する。



平成 25 年台風 18 号の
信楽の災害ボランティアセンター



田中 新人



Q 甲賀市民の歌、作成制定の考えは
A 市民の一体感・郷土愛醸成の考え

Q 「甲賀市民の歌」作成制定は、是非とも必要と思うが市長の考えを伺う。

市長 現在、本市が制定している「花・木・鳥」と目的が同じであることから、市民の皆様からのご意見を伺うなど、必要性を見極め、判断。
Q ふるさとの誇りや愛着を育み、心の支えとなる歌となって欲しいと思うが。

総政部長 市民の皆様にわが町への誇りや愛着、市民としての一体感を感じて頂き、本市のイメージアップを図ることを目的とするものである。

Q 国道1号水口道路の渋滞緩和について朝夕の交通量の把握はしているのか。

建設部長 4車線開通後平成30年3月に交通量調査で泉西交差点の湖南市方面への通過台数は1万9139台で道路交通センサスが来年度実施される。

Q 旧東海道速度規制。
市環部長 30kmで可搬式速度違反取締が月1回実施。



国道1号水口泉渋滞

選挙区内の議員に対し、寄付を出すように勧誘や要求をすることは禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



林田 久充



Q PCR検査陽性の時の市の役割は
A 広報、患者・家族の生活支援等

Q 検査陽性患者の県の対応と市の役割はどうか。

健福部長 陽性患者

者に対しては、入院、宿泊療法の調整と聞き取り調査が行われる。得られた情報のうち年代、性別、居住地、職業、症状、経過、濃厚接触者、行動歴等が、毎日夕方公表されている。市の役割は、市民への広報、患者・家族などの生活支援、保健所の後方支援業務を担っている。専門学校のカラスタワーが発生したときは、学生への生活支援として食事や生活物資、消毒液の提供を行った。

Q 特別養護老人ホームで発生した時の市の状況把握等とは。

健福部長 デイサービス利用者とその家族へ

在宅介護に必要な支援を行った。さらに、利用者72名を訪問し、資材等を配布し、健康状態の聞き取りを行った。また、応援職員の派遣を要請した。



デイサービス利用者には配られた衛生用品



田中 将之



Q 地域交通をどう維持するか
A 地域にあった交通網を整備

Q コロナ禍以前から、人口減少によって、鉄道やバスなど地域の公共交通の経営が地方ほど厳しくなっている。地域住民の暮らしを支えている地域交通をどう維持するか。この課題に対応するため、先の通常国会では、地域公共交通活性化再生法や道路運送法など関連法が改正された。自治体主導で地域の輸送資源を総動員し、交通サービスの改善をめざすことが柱となっている。甲賀市において、甲賀市においても運転免許証の自主返納者が増えており、今後、公共交通空白地と言われる地域での交通対策が課題。市としてどのように地域交通を維持するの。

建設部長 今後の公共交通網の改善をしていくうえで、利用状況や地域のニーズの把握に努め、民間タクシーなど地域の輸送資源や新しいモビリティサービスの活用も念頭に、地域にあった交通網を構築していく。



エリアの拡大が望まれるコミタク



山中 修平



Q みなくち診療所の現状と今後は
A かかりつけ診療所への改革が必要

Q みなくち診療所の歴史は。

健福部長 昭和25年に貴生川病院となり、昭和37年に水口市民病院と改称。平成24年に介護老人保健施設と診療所を併設した水口医療介護センターとなった。

Q 診療所の現状と今後の方向性は。

健福部長 平成29年を底に30年、令和元年と

外来患者数は増加。内科、小児科、整形外科、運動器症候群の外来と、予防接種や各種健診に往診・訪問診療が増えたことが大きい。今後は、日曜診療や時間延長に在宅医療の充実など、身近な「かかりつけ診療所」として充実を図る。

Q 貴生川駅周辺特区構想エリア内の医療機関として、「貴生川駅前診療所クリニック」と改称すれば、どこにあるかすぐに分かり地元の人にも愛着を持って頂けるが、街づくりにおける医療機関の役割は。



みなくち診療所

市長 民間医院が多い中診療所には休日・時間外診療や在宅医療拠点への改革を期待する。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



橋本 律子



Q 斎場バイパス道改良の早期実現を強く県要望し事業推進に取り組み

A 県道水口・甲南線の道路改良が長期化している。その進捗状況と課題要因は。また、県の連携はどう図られているか。

建設部長 県道路アクションプランに基づき、県道小佐治甲南線接続の1.9 kmに取り組んでいる。平成24年度から測量・設計等土地調査設計業務が進んでいるが、公図混乱が生じているのが課題。地権者・地域協力が必要で現在、県とともに地元調整に努めている。

Q この度、災害時等における県内火葬場の相互応援協力に関する協定が締結。現道の環境保全や災害時リスクの観点からも早期の改修検討が必要だ。市として斎場バイパスとしての現道の位置づけをどう考えるか。次期アクションプラン中間見直しにおいて、長期化の背景など地元近隣への情報共有を願いたい。

市長 水口と甲南を結ぶ南北ルート。斎苑へのアクセス道の機能を有する。旧5町の要望事項であった。早期完了が図れるよう県へ強く要望。連携、事業推進に取り組む。



土砂崩れが発生した斎場アクセス道



山中 善治



Q 感染拡大防止の密閉空間対策は換気を進める

A 新型コロナウイルスの感染経路の一つ飛沫感染は、密閉空間を避けることが有効といわれている。市内各所の対策などを伺う。

総務理事 本庁舎では、24時間換気システムに加え、1日3回5分程度排煙窓などを開放している。市民センターでは、定期的な換気を実施している。

教育部長 音楽室等では2方向の窓の同時開放を、エアコン使用時は、教室使用前の事前換気や休み時間などに室内換気を行っている。

総政部長 区や自治会の公民館や集会所の換気対策では、扇風機の利用や網戸の設置が有効。自治振興交付金を活用し、機器等の購入をお願いしている。

産経部長 「住宅リフォーム補助事業」において、家電製品は対象外で、感染対策に有効な換気工事などの上乗せ補助を検討する。



岡田 重美



Q 中学卒業まで医療費完全無料化を医療費負担軽減は引き続き検討

A コロナ禍のもと、減収のあった障害者就労支援施設への補助事業が提案された。この補助事業により、コロナで影響を受けた事業所全体が保障されるのか。

健福部長 今回の補助事業に限らず、今後の動向も見極め、事業所の活動や利用者の工賃確保に向け、できる限りの支援をしていく。

Q 第8期介護保険事業計画に、待機者数に見合った特別養護老人ホーム増設計画、介護保険料の引き下げなどを盛り込むべき。

健福部長 真に必要な特養整備数を計画に反映させる。基金の有効な活用を考慮し、保険料の算定を行う。

Q 中学卒業までの医療費完全無料化を実施すべき。

市長 引き続き検討課題とする。

Q 土山旧東海道はカラー舗装の修繕計画が必要では。

建設部長 景観や安全面から検討必要と認識している。



カラー舗装されている土山旧東海道

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



小西喜代次



Q 信楽高原鐵道に無料乗車券制度を
A 他の福祉政策も考え幅広く検討

Q 新型コロナウイルス検査を市独自の体制で。市
 立の医療機関、学校等の職員に定期的検査を。
市長 簡易で精度の高い検査キットの開発、普
 及が可能になれば、市独自の体制も可能になる。
Q コロナ禍での小規模・中小事業者に継続的な
 支援を。

産経部長 国、県の制度を補充し、期間延長や
 新たな支援策の情報収集、検討を進めている。
Q 信楽高原鐵道に無料乗車券制度の適用を。
市長 75才以上に適用すると350万円の負担
 となる。他の福祉政策も考え幅広く検討する。

Q 6月発生の信楽町勅旨の土砂崩れ等に、住民
 負担軽減の市独自の
 上乗せ施策を。
建設部長 更なる
 負担軽減は困難。

Q 大戸川、信楽川の
 計画的な浚渫を。
建設部長 今年度
 に浚渫が実施され
 る。今年度から5年
 間に市内12河川で計
 画的な浚渫事業が実
 施される。



浚渫が必要な大戸川



橋本 恒典



Q 新名神を活かしたまちづくりは
A 全線開通・6車線化に大きく期待

Q コロナ禍の中、今後、新名神を活かしたま
 ちづくりがより重要と考えるが市長の考えは。
市長 令和5年度の全線開通や6車線化によ
 り、本市の優位性を活かした新たな産業の創出
 や企業立地、地場産業や観光振興などを活かし
 たまちづくりの進展に期待している。
Q 適正な道路管理について考えを伺う。

建設部長 パト
 ロール員の巡回に
 よる応急的な道
 路修繕など通行
 者の安心、安全
 に務めている。

Q 中山間地等直
 接支払制度では
 傾斜地の勾配が
 100分の1ま
 でになっているが見直しの考えは。
産経部長 県との協議は必要となるが緩傾斜地
 等の考え方について見直しを進めていきたい。



交通安全施設も定期的な更新が必要

水道部長 現在は岩室橋の仮設連絡管により
 安定供給を行っているが、県用水管の増径によ
 り対応していきたい。



里見 淳



Q ギガスクール構想について
A 積極的に取り組む

Q 導入されるタブ
 レットについて。

教育部長 ギガス
 クール構想(児童生
 徒一人一台の学習コ
 ンピュータの整備)
 は、既存のOSとは
 異なる、教育的視点
 からの総合評価の高
 いOSの機器を選定
 した。

Q オンライン授業について。

教育部長 ハード面では準備を進めているが、
 教員のスキルアップが課題である。

Q 新型コロナウイルス対策以外の可能性について。

教育部長 登校が困難な子どもたちにかなり
 有効な手段である。

Q 電子黒板は。

教育部長 当面は大型テレビで対応し、電子
 黒板は教員がスキルアップしてから導入する。

Q ICT支援員は。

教育部長 活用が進んでいる。10月以降に支
 援員の派遣を更に161回分確保した。



新しく導入予定の学習用タブレットOS

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



土山 定信



Q 市立病院 信楽中央病院の今後は
A 自助努力による経営改善に努める

Q 5月の臨時議会で、信楽中央病院は市立病院として、コロナ感染症対策用の専用のマスク・ガウン等が補正予算として上程された。準備されたことに、心より敬意を示す。どの程度資材が整備されたのか。



唯一の市立病院 信楽中央病院

健福部長 調達が困難な時もあったが納品が早まってきている、50%は確保済みである。

Q 本病院は市から繰入金があるにも関わらず、経営面では赤字となっている。その対策として新改革プランが設定されているが、その評価は。

健福部長 市立病院であり、不採算部門を担っていることは高く評価されているが、少子高齢化等により目標には達せなかった。

Q 今後について、市長の考えを聞く。
市長 市としては、早期に審議会を開催して今後の方向付けを行い、当面支援を行いつつ、経営改善にも努めていきたい。



竹若 茂國



Q コロナ禍誹謗中傷への取り組みは
A 市としても積極的に取り組む

Q 人権推進協議会で取り組みを進めては。

副市長 関係機関と連携し情報収集を行い、教材化と共に啓発を着実に進める。

Q ニホンザル対策の取り組み状況は。

産建部長 団体や専門家による全頭捕獲、個体数調整を実施している。

Q サルのイタチごっこで地域の過疎化が一層懸念されるが。

産建部長 事前に位置が分かるGPSの活用、サルと集落との棲み分け、ICTで集落支援等を検討する。

Q 在宅看護、介護、看取りの取り組み状況は。

健福部長 各地域包括の強化、各種コーディネートーターを配置しているが、人材の確保が難しい。権利擁護にも取り組んでいる。

Q 地域包括ケアシステムの構築、医療、介護関係者の人材確保は。

市長 早急な体制の整備が必要。行政医療、専門職、事業者と地域住民が一体になった「オール甲賀」で取り組む。



甲賀市議会議員補欠選挙結果

甲賀市議会議員の補欠選挙は10月11日(日)に告示され、10月18日(日)に投開票が行われました。開票の結果は次のとおりです。(敬称略)

西村 慧	10660票(当選)
林 繁久	6529票
吉田 泰啓	5553票
面山 実	4371票

※なお、投票率は38・27%でした。

傍聴のご案内

甲賀市議会では6月議会から傍聴を再開しています。傍聴される時には次の点にご協力ください。

- ①傍聴当日、熱のある場合や体調不良の場合は傍聴をご遠慮ください。
- ②手洗い、手指の消毒をお願いします。
- ③マスクの着用をお願いします。
- ④「氏名、住所、連絡先」の記入等にご協力をお願いします。

※本会議はあいコムこうかで生中継、インターネットで生中継と録画配信を行っています。

あなたとつなぐ

市議会議員紹介

vol.10

市民のみなさんに市議会議員をみぢかに感じていただきたいとの思いから、議席番号順に全議員をクローズアップしていきます。

う かい いさお
 鶇 飼 勲 水口町在住



Q 議員を志したきっかけは？
 合併直後の混乱期、誰もが未来永劫住みよさを実感できる甲賀市を築くため。

Q 議員になって感じたことは？
 政治は結果責任！一度しかない人生だからこそ常に前を向き日々歩む大切さ。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？
 議員は、市民が選出した市民の代弁者で平等・公平・公益を守る義務を負う。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？
 過ちでは改むるに憚ること勿れ。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？
 三大寺地区の盆行事「迎え火」。幻想的な雰囲気ですと身体をリフレッシュ。

たに なが けん じ
 谷 永 兼 二 信楽町在住



Q 議員を志したきっかけは？
 地域の課題を解決し活性化するには市全体の問題等を解決する必要がある。

Q 議員になって感じたことは？
 要望、提案が実現していく中で、議員の発言と意思決定の責任を重く感じた。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？
 個々の問題を全体の問題として捉え、課題を解決していくための想像力。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？
 情報発信と傾聴を意識し、誠心誠意接すること。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？
 甲賀の山容、森林浴とマイナスイオンの鶏鳴八滝。

編集後記

▶ 落日が進むごとに、寂しさや懐かしさを感じる日々になってきました。やっと子どもたちの元気な声が外で聞こえ嬉しく感じていましたがその時間も短くなってしまいました ▶ 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの流行を少しでも減らすために、インフルエンザワクチン接種の補助が出るようになりました。全員ではありませんが、ぜひ多くの方にワクチン接種をしていただきたいと願っております ▶ 明年、希望ある年を迎えられるよう、ウイズコロナの対策をさらに進めていかなければなりません。議会全体で知恵を絞り、力を合わせていきたいと思っております ▶ 3人寄れば文殊の知恵。24人寄って市民の負託に応えたい。(広報特別委員 堀 郁子)

12月議会の予定

- 11月26日 9時30分～
 本会議(第1日) 会派代表者質問
- 11月30日 9時30分～
 本会議(第2日) 議案上程・提案理由説明
- 12月8日 9時30分～
 本会議(第3日) 議案審議
- 12月9日 9時30分～
 本会議(第4日) 一般質問
- 12月10日 9時30分～
 本会議(第5日) 一般質問
- 12月11日 9時30分～
 本会議(第6日) 一般質問
- 12月14日 9時30分～
 本会議(第7日) 一般質問
- 12月15・16・17・18日 9時30分～
 委員会
- 12月23日 9時30分～
 本会議(第8日) 最終日

11月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					
12月						
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

本会議も9時30分からの開始になりました。

カメラの



ちびっこがリアル忍者を体験。忍者の歴史や忍者の秘術とされた五道の術を体感できる「甲賀流リアル忍者館」が、甲南町電法師の忍の里プララでプレオープンしました。大迫力のプロジェクトンマッピングは必見。新型コロナウイルス対策のため一部体験施設の利用制限していますが、ぜひ、お立ち寄りください。



(写真撮影 里見 淳委員)